

第26回気象サイエンスカフェin名古屋

源氏物語in名古屋

スピーカー 元TBSアナウンサー・日本気象予報士会 顧問 石井 和子



平安時代の気候は今と比べてどんなだったのでしょうか？
大河ドラマでおなじみの紫式部は、『源氏物語』のなか
ありとあらゆる恋を描きながら、たくさんの気象現象をちりばめています。
それらは驚くほど正確で、現代の天気図がはっきり浮かんでくるほどです。
今回は天才・紫式部の観察眼のするどさに迫りながら、気象を通して皆様
と源氏物語をひも解いてみたいと思います。

スピーカー略歴

元 TBSアナウンサー

1995年 気象予報士資格取得

2003年～6年 日本気象予報士会会長・現在顧問

2008年 お茶の水女子大学にて学位取得・『論文題目

・源氏物語におけるしぐれの気象学的考察』

・学術博士

桜美林大学講師(2008年-16年) や紫式部学会・源氏物語
アカデミー講演など

著書・・・『平安の気象予報士紫式部』講談社α新書

『紫式部の暗号』三五館

- 日 時 令和6年2月18日(日) 午後3時～午後4時30分
- 場 所 名古屋市中区栄三丁目18番1号ナディアパーク内デザインセンタービル7階
7th Cafe (セブンスカフェ)
- 定 員 45名(先着順)
- 参 加 費 600円(ドリンク代)
- 申込方法 メールにて、tokaishibu-contact@yoho.jp 日本気象予報士会東海支部 亀山あて。
件名は「気象サイエンスカフェ参加希望」としてください。本文に住所(都道府県のみ)
氏名、所属(気象予報士会会員、大学生、会社員、公務員等)メールアドレス記載の上
個人ごとにお申し込みください
申込時に記載された個人情報(住所等)はサイエンスカフェ参加の連絡以外には使用しません。

今回はzoomの募集は行っておりません。

主催(公社)日本気象学会中部支部、(一社)日本気象予報士会東海支部

